



風立ちぬ

志高く 未来を切り拓く
立川中学校通信
第10号
令和3年1月12日(火)発行

3学期始業式校長講話SDGs (エスディーズ)って何?



持続可能な
開発
目標

世界は、貧困、人種差別、環境破壊など、様々な問題に直面しています。こうした地球規模の問題を解決するために、「誰一人取り残さない」という理念のもと、国連が加盟193カ国が達成を目指す2030年までの目標として定めたのがSDGsです。

SDGsは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の頭文字を取った略称です。

サステナブル (持続可能な開発)とは、「環境保護」「社会的に弱い立場の人も含めた人権尊重」「経済活動」を調和して進めるということです。

以下に17の目標とアイコンを示します。これらは、今の地球にはこれだけの課題があることを示しています。これらを**自分の事として受け止め、できることから取り組んでいく**ことが国、自治体、企業、そして一人ひとりに求められているのです。



©UN Photo

国連で持続可能な開発のための2030年までの目標が採択された時の様子
(2015年9月25日、ニューヨーク国連本部)

伝統的 社会課題	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナースhipで目標を達成しよう	

17の目標とアイコン

立川中の教育活動にはSDGsの取り組みとして価値付けできるものがあります

立川中学校のボランティア活動

立川中学校生徒会のボランティア活動も立派なSDGs活動です。

何もしなければゴミになってしまうペットボトルや牛乳パックを資源にするための回収活動をしています。これは「目標12つくる責任つかう責任」や「目標7エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「目標13気候変動に具体的な対策を」「目標14海の豊かさを守ろう」の取り組みです。



ペットボトルキャップと牛乳パック回収

総合的な学習の時間「立川と生きる」

総合的な学習の時間では、1年「地域を知る」2年「地域を学ぶ」3年「地域を考える」のテーマを設定し「立川と生きる」の探究学習をしています。これは「目標11 住み続けられるまちづくりを」に関連し、風力発電の学習は「目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」や「目標13 気候変動に具体的な対策を」の活動です。



建設が進む座頭塚発電所

差別や偏見を考える

学級や身の回りで、差別や偏見を考えることは、「目標5 ジェンダー平等」「目標10 人や国の不平等をなくそう」と繋がっています。

(立川中学校では、令和3年度から男女混合名簿実施を検討しています。)



教育課程編制 (教育課程とは学校の教育計画のことです。)

現在、次年度の教育課程を編制しています。新しい学習指導要領では、持続可能な社会の作り手の育成が求められています。学習内容を社会と関連づけたり、探究的な学習の推進や地球的な課題を自分事として考える教育を実践していきます。



SDGs関連情報

図書室にはこんな本があります



中身の紹介

「こどもSDGs」秋山宏次郎監修

飢えている人がいるのに、
食べものを捨てる人もいる



世界の飢餓人口は、約8億2,000万人。
特にアフリカでは、人口の約3分の1が
栄養不良に苦しんでいる

考えてみよう

- くだん食べものを残したり、捨てたりしていない？
- 食品を大量に輸入して、捨てる日本をどう思う？

人間はお金儲けのために
大切なことを犠牲にしてきた



環境や人権を犠牲にしてまで
お金儲けを優先し続けた結果、
企業はさまざまな問題を起こしてきた

考えてみよう

- お金儲けのために環境を破壊してもいい？
- お金儲けのために人権を無視してもいい？

図書室前の掲示

SDGsシリーズ「なぜ大切か」(国連広報センター制作)



17の目標ごとに、なぜこの目標が設定されたのか、何が問題となっているのか、取り組まなかったらどうなるのか、私たちには何ができるのかが短くわかりやすくまとめられています。

庄内町ゼロカーボンシティ宣言

～2050までに二酸化炭素排出量を実質ゼロに!!～

これまで風力発電などの再生可能エネルギーなどの普及を行ってきた庄内町では『人と自然が輝き合う日本一住みやすいまち』の実現のため、令和2年11月7日に「庄内町ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。



庄内町で進められている風力発電所
山形新聞より

文責：校長 中里浩也